

よろっさ やろっさ つなごっさ! 春 まち ぽかぽか プロジェクト



# かわらばん! その⑤

## プログラム3 集い、ふれあい、知り合おう

### ～サンバがといもつ福祉のこころ～

2月19日(土) 13時～16時15分

辰口健康福祉センターにおいて

約120名の

参加のもと開催されました。

日	月	火	水	木	金	土
						2/12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26

**内容** サンバダンス講師の協力を得て、ガンザ(サンバダンスで用いるシェーカーのような楽器)を作り、各自、手製のガンザを振り、参加者全員がサンバステップで体を揺らすことで、障がいのある人もない人もお互いに心を開き、触れ合いました。お互いの気持ちが開かれたところで、サンバを通して触れ合った感想をグループワークで話し合いました。最後に、少人数の静かな環境を好む人はそのような環境で、じっとしていることが苦手で飛び回りたい人は飛びまわられる環境で、主会場以外の夫々の居場所でも聴くことができるように、北陸先端科学技術大学院大学の協力を得て、主会場と夫々の居場所を全館放送と映像モニターで結び、日本福祉大学の原田先生に「であい、ふれあい、ささえあいのまちづくり」というテーマで講演していただきました。

**まとめ** グループワークで得られた感想の要約は下欄の通り。原田先生は「ノーマライゼーション」(共生)が我が国では総論賛成、各論反対になっている実態を指摘しました。この実態を克服するためには、全ての人びとがもっと出会い、触れ合うことが必要です。福祉は今日では、「ふだんの、くらしの しあわせ」と伝えるようにしており、生存権より幸福追求権の色合いが強くなっています。また「共感」を「寒いねと 語りかければ 寒いねと 応える人のいるあたたかさ」(俵万智)の歌に託して語ってくれました。

### 参加者の感想

- \* サンバでの触れ合いは楽しかった。これでやる気、一体感が生まれ、一堂に会する意味が感じ取れた。
- \* 感性に訴える試みはよかった。声を出して謳える機会が加わったらもっと良かった。
- \* このようなイベントは年に1度ではなく、身近に何回もあると良い。
- \* 障がい児のことを相談する窓口が欲しい。
- \* ボランティアをするとき、つい構えてしまうが、めげずに、しつこく続けていきたい。

